

## 第2回全国障害学生支援コーディネーター研修会 開催要項

目的 :

全国の各大学で、障害学生支援コーディネートの業務を専門に担当する職員及びそれに準ずる職員が集まり、障害学生支援の意義と役割について議論する場を提供する。

聴覚・視覚障害学生の支援コーディネート業務に活用できる知識や技術を提供し、各大学における障害学生支援の質的向上を目指す。

主催 : 国立大学法人 筑波技術大学

後援 : 独立行政法人 日本学生支援機構

日程 : 平成20年6月28日(土) 11:00~16:30 (第1日目)

総合司会 筑波技術大学総務課 柴正彦課長

11:00~11:15 開会式

11:15~12:30 講演「障害学生支援論・総論」

筑波技術大学 長南浩人准教授

13:30~14:15 各論講演1「障害学生支援論・社会福祉の視点から」

筑波技術大学 岡本 明教授

14:25~15:10 各論講演2「障害学生支援論・教育の視点から」

福岡教育大学 太田富雄教授

15:20~16:05 各論講演3「障害学生支援論・経済性の視点から」

愛媛大学 平尾智隆講師

16:05~16:15 質疑応答

16:15~16:30 事務連絡

17:00~19:00 情報交換会

平成20年6月29日(日) 10:30~16:00 (第2日目)

10:30~12:30 聴覚系分科会1/視覚系分科会1

13:30~15:30 聴覚系分科会2/視覚系分科会2

15:45~16:00 閉会式

会場 : 東京国際交流館 プラザ平成 (〒135-8630 東京都江東区青海2-7-9)

・新交通ゆりかもめ「船の科学館」東口より徒歩約3分

・りんかい線「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

対象 : 高等教育機関において障害学生支援の業務を専門に担当する職員および、それに準ずる職員

定員 : 50人

参加費 : 無料 交通費・宿泊費等は参加者負担とする

内容 :

### 講演「障害学生支援論」

高等教育機関における障害学生支援とは何をどこまでやるべきか。支援コーディネートの業務に携わる際の疑問に対して、障害学生支援の必要性という原点に立ち返り、試論を提案する。また、各論講演では社会福祉・教育・経済性の視点から論じ、質疑応答によって議論を深めながら、障害学生支援の意義と役割を探る。

### 分科会

各大学の支援現場で、すぐに活用できる具体的な支援技術や知識を学ぶ研修を実施する。参加者は、各大学の支援体制や支援状況に応じて分科会を選択する。

#### 聴覚系分科会 1 (午前)「情報保障支援の評価と指導法」

1. 様々な評価の視点と方法の提示
2. 情報保障及び評価の体験
3. 評価や指導法に関する情報交換

#### 聴覚系分科会 2 (午後)「パソコンノートテイク導入」

1. IPtalk のインストールと設定方法、ソフトの使い方
2. 前ロールの準備と使い方
3. 連係入力によるパソコンノートテイクの練習
4. 講習会で必要な機材やパソコンの設定方法、講習カリキュラムの紹介

#### 視覚系分科会 1 (午前)「点字・テキストデータ作成の基本」

1. PDF・新聞の切抜きなどからの点字データ変換のコツ
2. テキスト校正の基礎

#### 視覚系分科会 2 (午後)「情報保障機器とバリアフリー環境」

1. ロービジョン(弱視)向け情報保障機器の活用法
2. 筑波技術大学の学内外視覚障害バリアフリー環境の整備

情報保障 : 参加者の要望に応じて、講演および分科会での手話通訳またはパソコン要約筆記、点字・拡大文字・テキストデータによる配布資料、駅から会場までの案内、その他必要な配慮を用意する。

情報交換会 : 第 1 日目のプログラム終了後、参加者間の情報交換の場として懇親会を開催する。(事前申込制、会費 5000 円程度、会場周辺レストランにて 17 時から)

申し込み : 参加申込用紙に必要事項を記入の上、6 月 12 日(木)までに下記申し込み先まで FAX または郵送にて申し込むか、同様の内容を E-mail にて送信する。ただし、定員 50 人に達し次第、申込み締め切りとする。

〒305-8520

茨城県つくば市天久保 4-3-15

筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター

担当 : 中島、宮城

電話/FAX 029-858-9438

E-mail support@k.tsukuba-tech.ac.jp